

## 令和4年度サウジアラビアにおける省エネルギー推進ワークショップ(産業部門) の実施について

〈開催日時〉 令和5年3月1日(水)9:00~10:45

〈開催場所〉 HIPF講堂

〈概要〉

一般財団法人省エネルギーセンター(ECCJ)は、2023年3月1日、サウジアラビアと日本の共催でプラスチック加工高等研修所(HIPF)を対象にワークショップを開催しました。

サウジアラビア王国では、貴重な炭化水素資源を活用し、皇太子殿下が発表された「炭素循環経済」アプローチにより2060年にネットゼロを目指すために、エネルギー効率化が重要な政策課題となっています。日本政府は、同王国におけるエネルギー効率化への挑戦を支援するため、エネルギー効率化の多くの分野で同王国と協力関係にあります。本ワークショップは、このような進展を継続させるため、同王国と日本の専門家との経験共有や意見交換を通じて、同王国の若い世代を将来のエネルギー効率化の専門家として育成するとともに、産業分野におけるエネルギー効率化を促進するための新たな戦略を培うことを目的としています。

主なテーマは以下の通り。

- (1)サウジアラビアの産業部門におけるエネルギー効率化の現状(SEEC)
- (2)産業分野での省エネルギー推進方法(ECCJ)



上段:参加者全員、下段左から 岩井駐サウジアラビア大使、HIPF校長、METI猪口氏、SEEC Mr.Abdullatif AlDihan、ECCJ 石原氏、セミナー後の質疑風景

歓迎の挨拶はHIPF校長のDr.Khaled Al-Ghefali様より賜り、開会の辞は経済産業省より猪口相様、祝辞は特命全権大使の岩井文男様から頂戴いたしました。

学生参加者は30名程となり、日ごろ使用している機械の省エネ方法や運用・管理における省エネ意識を惹起することができ活発な質疑応答が行われ、産業分野におけるエネルギー効率化の方法について知見・経験を共有することができた有意義なワークショップとなりました。